

2021年2月18日

【オンライン】 個人投資家向け 会社説明会

 SUMITOMO CHEMICAL

(証券コード：4005)



I 会社概要

II 中期経営計画

III 各事業の紹介

IV 持続可能な社会に向けた取組み

V 株主の皆様との夢の共有

I

会社概要

- 住友化学の現状
- 当社の株主構成



社長

岩田 圭一

本社

東京本社(東京都中央区)

大阪本社(大阪市中央区)

開業

1915年

従業員

33,586人(2020年3月末)



関係会社

連結子会社 218社

持分法適用関連会社 33社(2020年3月末)

売上収益

22,258億円(2019年度実績)

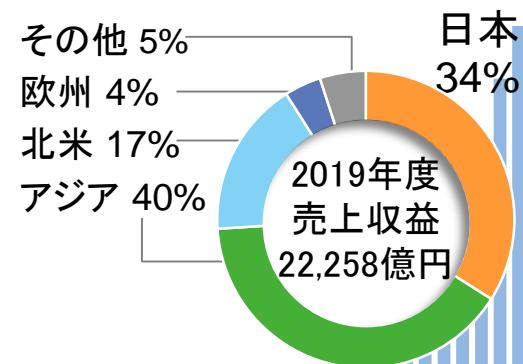
コア営業利益

1,327億円(2019年度実績)

親会社の所有者
に帰属する
当期利益

309億円(2019年度実績)

地域別売上収益比率



1916 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2019

(連単) 1978年度以降:連結 1977年以前:単独



医療用医薬品

ライフ
サイエンス

農業用殺菌剤・殺虫剤

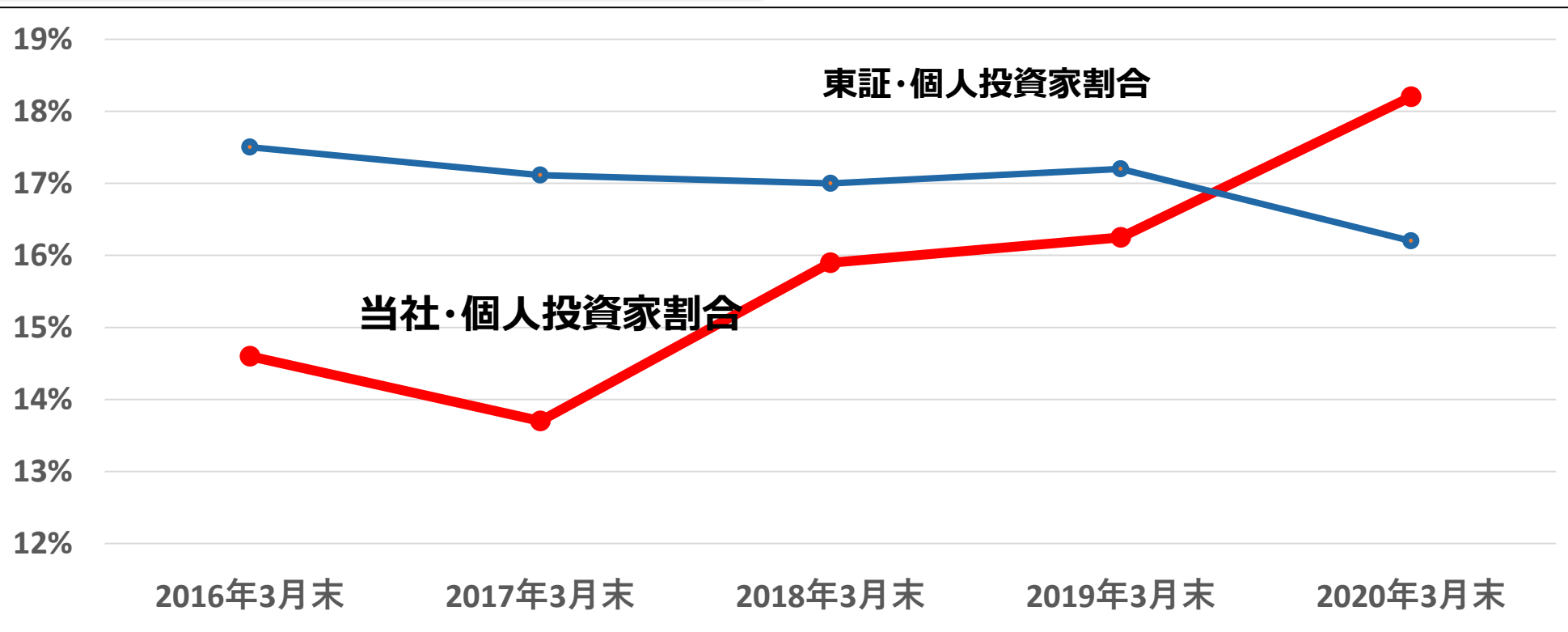
医薬品
23%健康・農業
関連事業
15%2019年度
売上収益
2兆2,258億円情報電子化学
18%

高機能材

石油化学
30%エネルギー・
機能材料
11%バルク
ケミカルポリエチレンなどの
多様な石油化学製品

電池材料（セパレータ）

株主構成の変遷



当社個人株主の株主保有期間別分布（人数ベース）

データは2020年3月末現在

	3年未満	3年以上～10年未満	10年以上
割合	51%	9%	40%

II

中期経営計画

- 基本方針
- 今後の持続的な成長に向けて
- 2020年度 業績予想修正
- 株価増減率の推移
- 配当方針

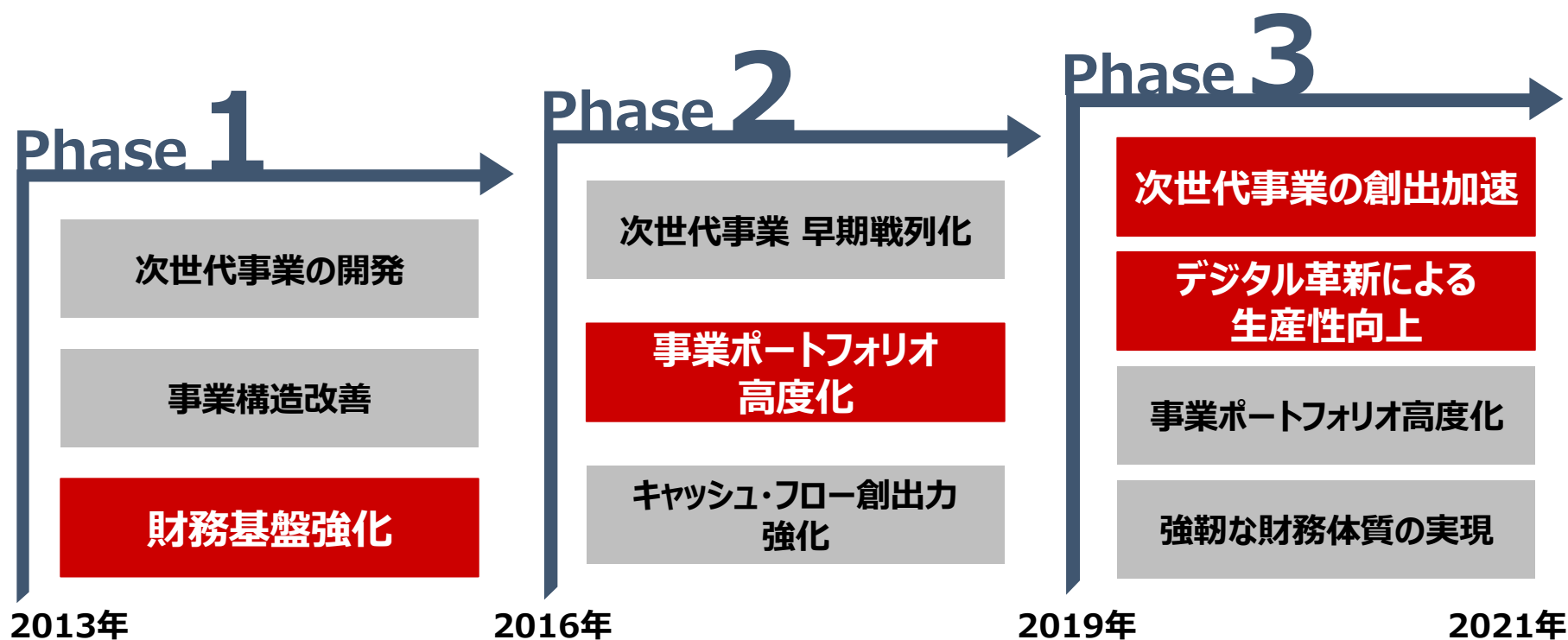


Change & Innovation

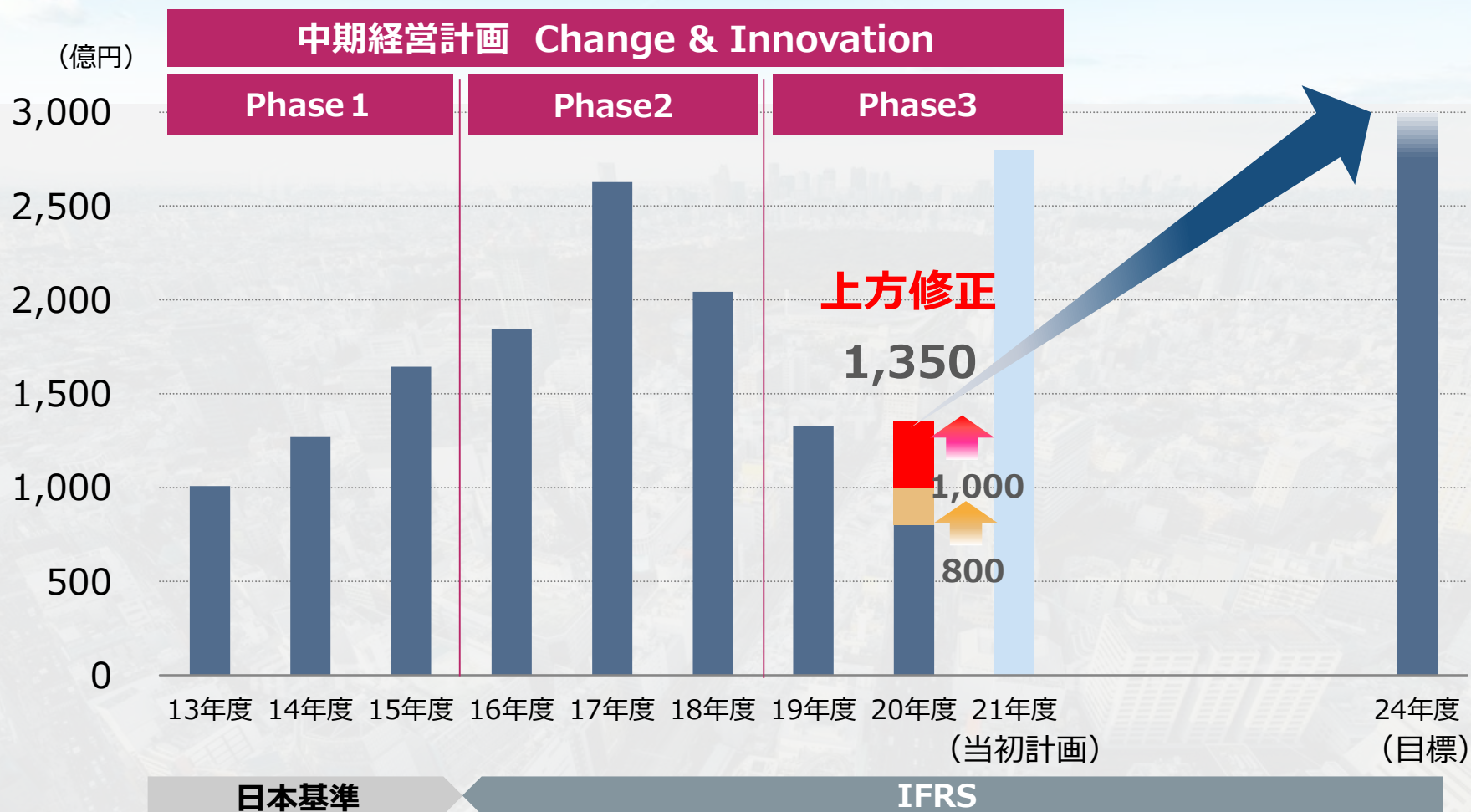
For the next hundredth anniversary

Create New Value

For a Sustainable Future



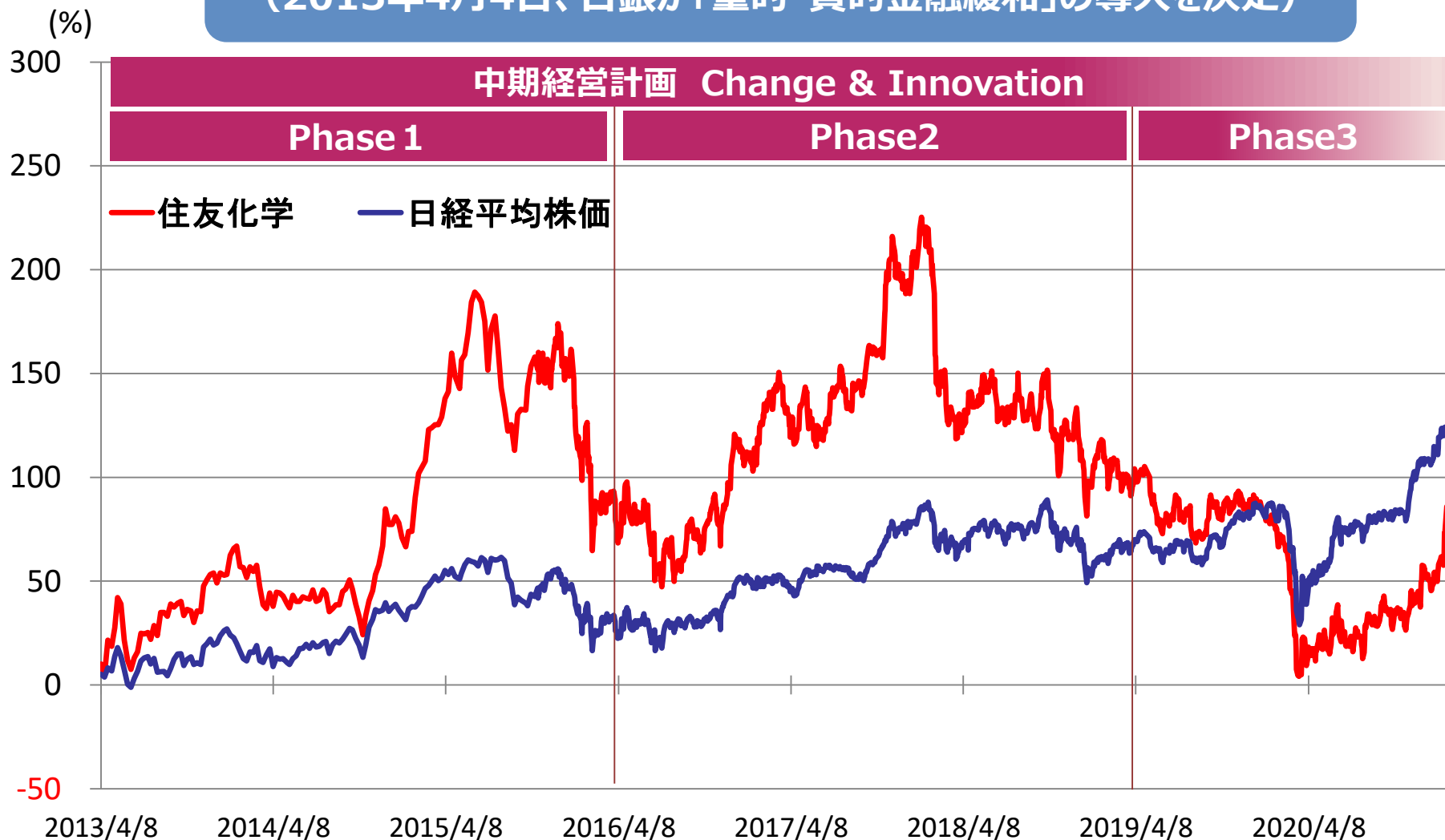
コア営業利益



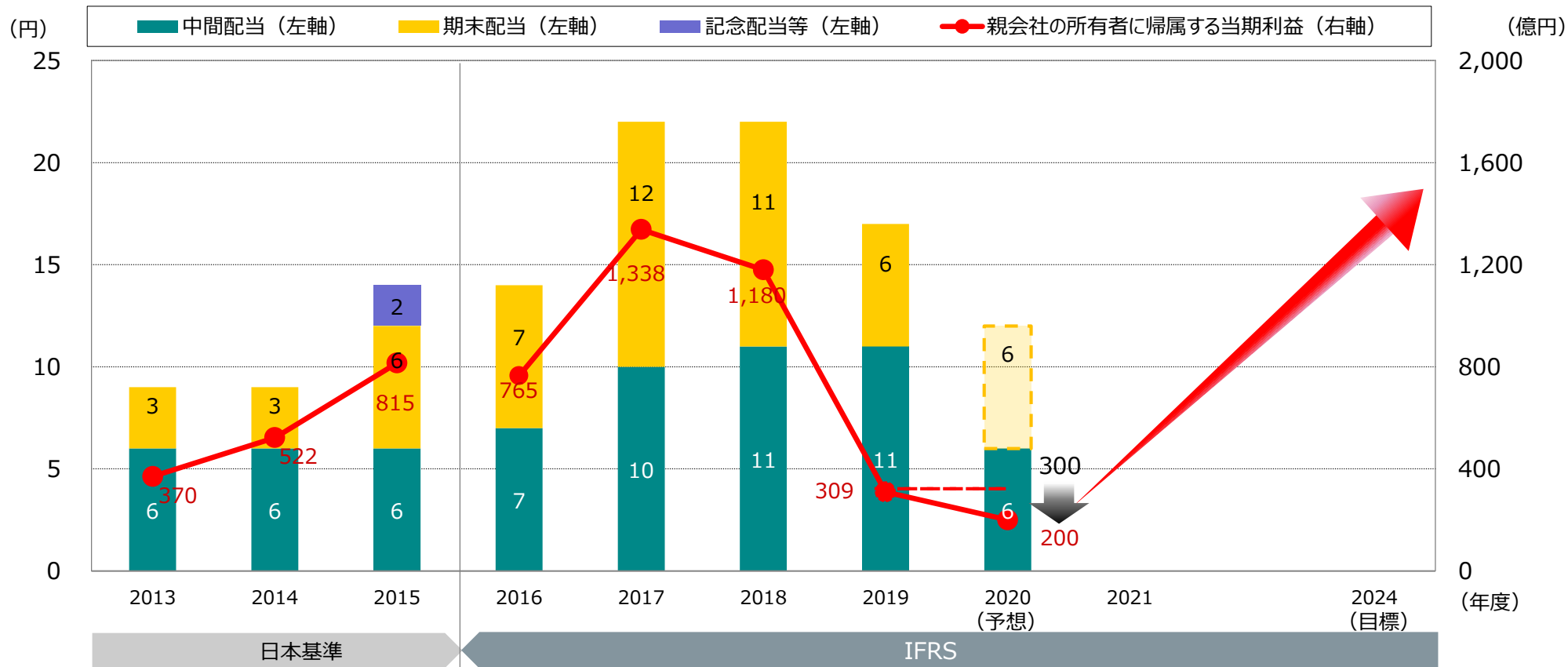
(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 見通し (10月時点)	2020年度 見通し (今回予想)	備考
石油化学	145	-330	-180	製品市況の上昇 コロナからの需要の回復
エネルギー・機能材料	203	180	180	
情報電子化学	251	360	400	好調な半導体、ディスプレイ材料 需要
健康・農業関連事業	21	310	270	
医薬品	753	510	650	ラツータ販売が堅調
その他	-46	-30	30	
合計	1,327	1,000	1,350	

2013年4月1日を基準とした株価増減率
(2013年4月4日、日銀が「量的・質的金融緩和」の導入を決定)



株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の業績、配当性向ならびに将来の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、**安定的な配当を継続することを基本**としております。中長期的には**配当性向30%程度**を安定して達成することを目指しております。



配当性向	40%	28%	28%	30%	27%	30%	90%	98%
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

III

各事業の紹介

- 石油化学部門
- エネルギー・機能材料部門
- 情報電子化学部門
- 健康・農業関連事業部門
- 医薬品部門



高付加価値製品を通じた顧客への
新たな解決策を提供します。

売上収益(2019年度): 6,569億円

主要な製品・事業

石油化学品/無機薬品/合繊原料/有機薬品/合成樹脂/メタアクリル/合成樹脂加工製品 等



ポリプロピレン



ポリエチレン



メタアクリル

重点的に取り組むSDGs



サウジアラビア

特徴

安価原燃料
による
コスト競争力の
高い収益拠点



日本

特徴

マザー工場・マザー研究所として
技術・製品・ノウハウの発信拠点



シンガポール

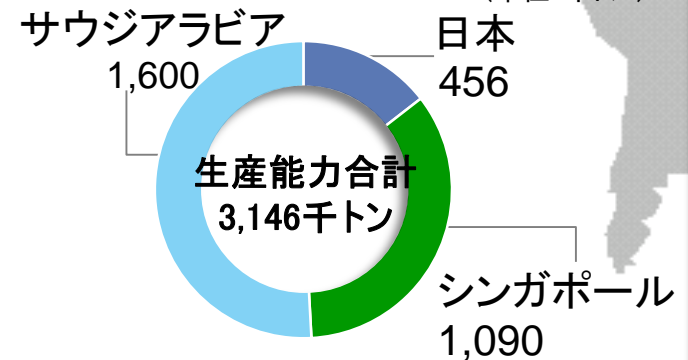
特徴

優良顧客を有する
高付加価値戦略の
拠点



拠点別エチレン生産能力

(単位:千トン)



コスト優位の確立と資産効率改善に注力 ➡ 資本コストを上回る収益力を目指す

長期的な視点での研究開発と
その成果である革新的な技術により
環境・エネルギー問題の解決に貢献します。

売上収益(2019年度): 2,550億円

重点的に取り組むSDGs

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



8 働きがいも
経済成長も



主要な製品・事業

アルミナ製品/アルミニウム/化成品/添加剤/染料/合成ゴム/
スーパーエンジニアリングプラスチック/電池部材等



電池部材



スーパーエンジニアリングプラスチック



レゾルシン

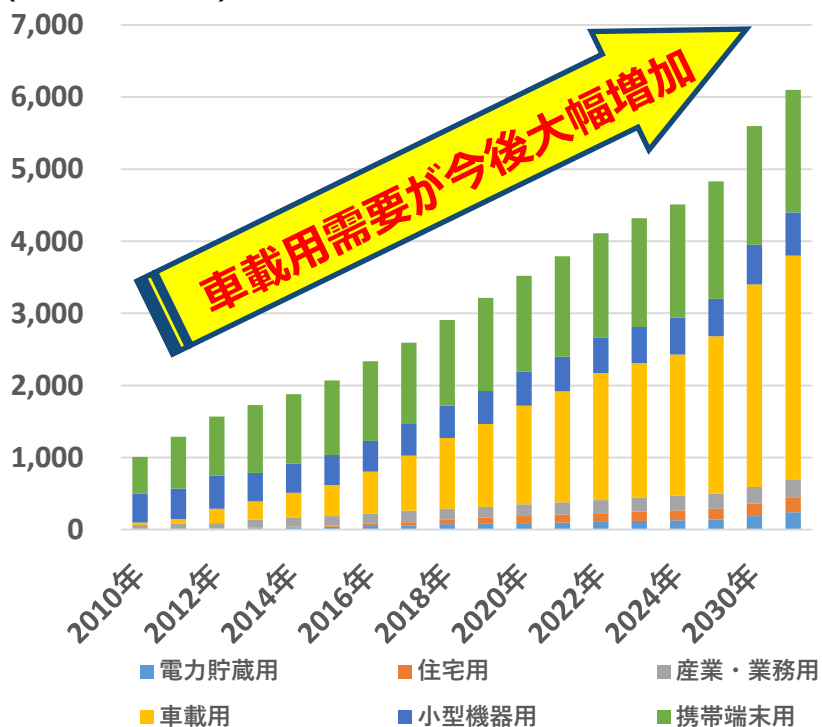
LIBトレンド

EV普及に伴うLIB市場拡大

EV航続距離延長に向けた電池容量拡大

リチウムイオン二次電池（LIB）用途動向

(単位：10億円)



アラミドセパレータの優位性

耐熱性

軽量

粉落ちの
少なさ



耐久性

アラミド塗工セパレータにより
Hi-Ni系電池においても
安全性確保

に貢献

住友化学 セパレータ



リチウムイオン二次電池



【2019年版リチウムイオン電池市場の実態と将来展望 株式会社富士経済】

素材開発と擦り合わせ技術の融合により、
情報通信技術の変化に対応した新たな
価値を提供します。

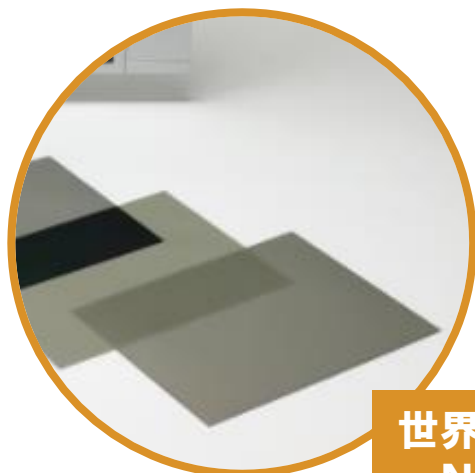
売上収益(2019年度): 4,049億円

重点的に取り組むSDGs



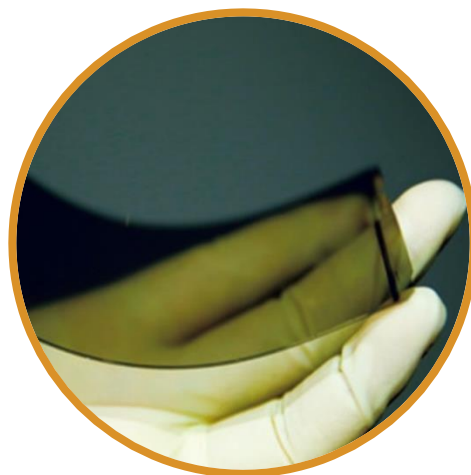
主要な製品・事業

光学製品／カラーフィルター／半導体プロセス材料／化合物半導体材料／
タッチセンサーパネル等



偏光フィルム

世界シェア
No.1



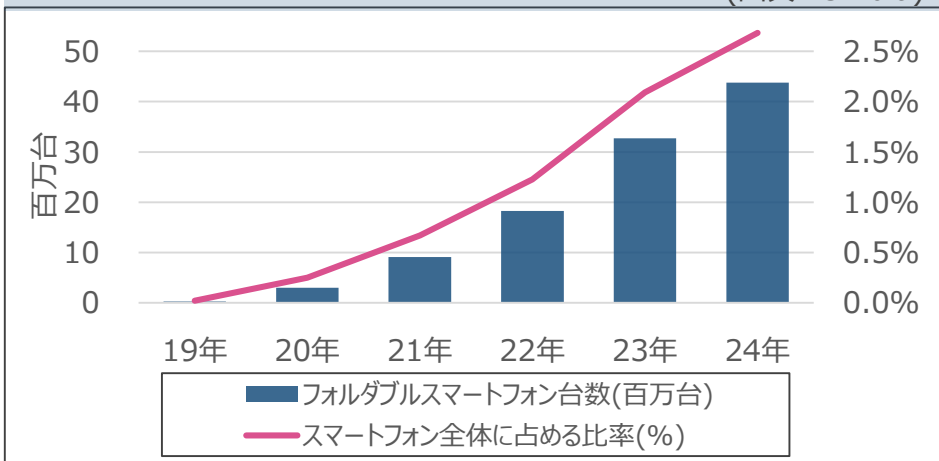
タッチセンサーパネル



半導体プロセス材料

フォルダブルスマートフォン台数予測

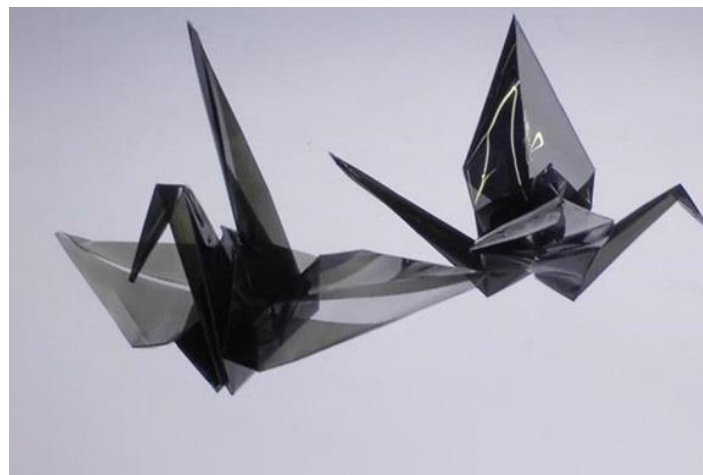
(出典: Omdia)



ウインドウフィルム

フレキシブルディスプレイ部材

	当社材料	競合材料
カバーガラス／フィルム	樹脂製透明フィルム	超薄膜ガラス
偏光フィルム	液晶塗布型偏光子 液晶塗布型位相差	延伸／塗布型PVA偏光子
タッチセンサー	フレキシブルタッチセンサー(Add-on)	オンセルタッチセンサー(パネルメーカー内製)
OLEDパネル		



折り曲げられる光学機能性フィルムで作成した折り鶴

研究開発力を基盤に、世界の食糧、健康・衛生、環境問題の解決に貢献します。

売上収益(2019年度): 3,437億円

重点的に取り組むSDGs



主要な製品・事業

農薬/肥料/農業資材/家庭用・防疫用殺虫剤/熱帯感染症対策事業関連製品/飼料添加物/医薬化学品等



肥料・農薬

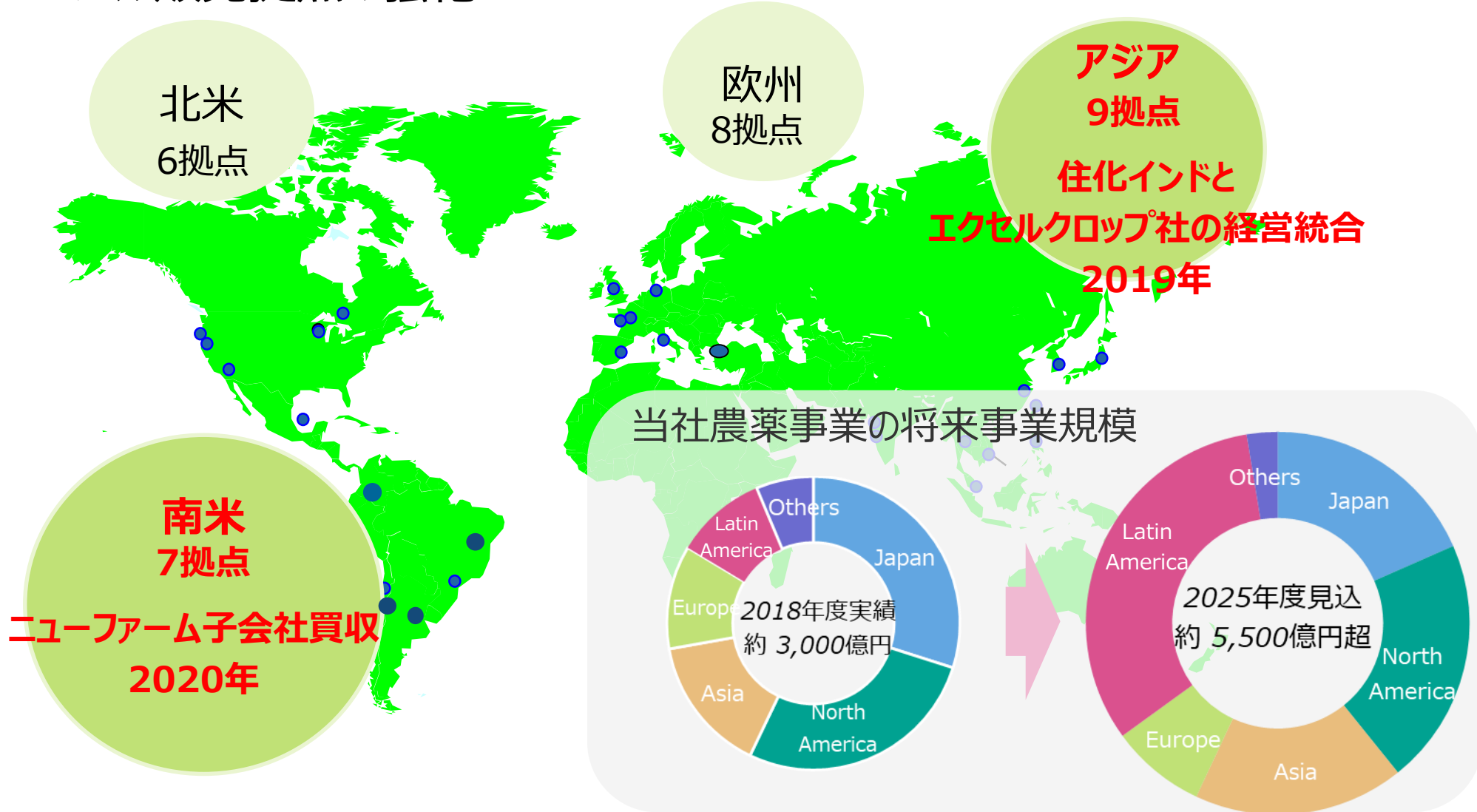


飼料添加物(メチオニン)



コメ事業

グローバル販売拠点の強化



- ・人口増加による食糧需要増加
- ・サステナブルな農業意識の高まり
- ・需要家の安全・安心/品質要求

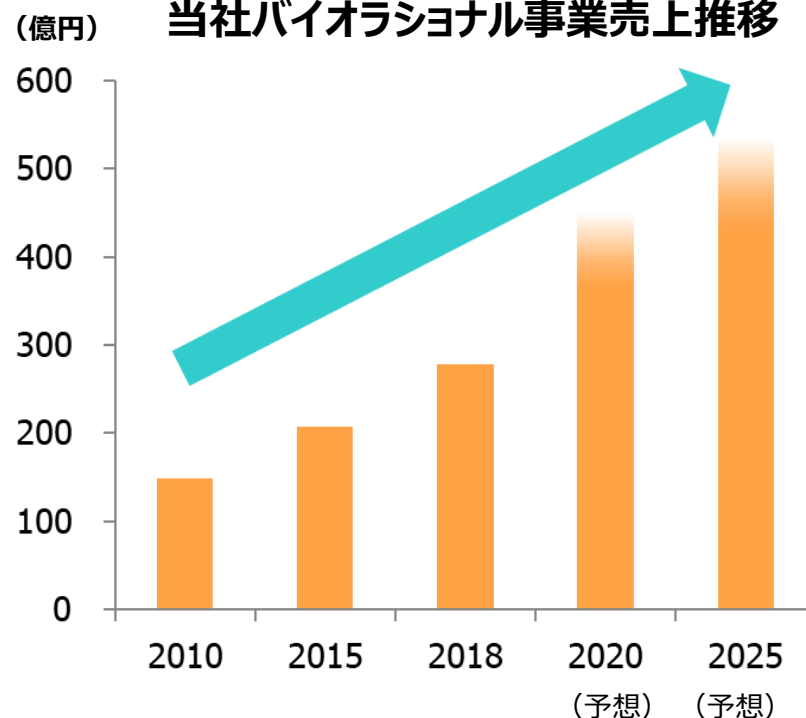


**バイオリショナル（天然物由来）
製品への期待**

事業規模比較

	市場規模	成長率
化学農薬	600億ドル	2.1%
バイオリショナル	64億ドル	10-15%

当社バイオリショナル事業売上推移



主なバイオリショナル製品紹介

**微生物
農業資材**

作物の土中の水分・養分の効率的な吸収を促進する有用微生物（菌根菌）

**植物生長
調整剤**

作物の収量、品質の改善に貢献する農薬

**微生物
農薬**

天然の微生物由来の物質を利用した殺虫剤

研究開発を基盤とした創薬により、
人々の健康で豊かな生活を支えます。

重点的に取り組むSDGs



売上収益(2019年度): 5,158億円

主要な製品・事業

医療用医薬品/放射性診断薬等



医薬品

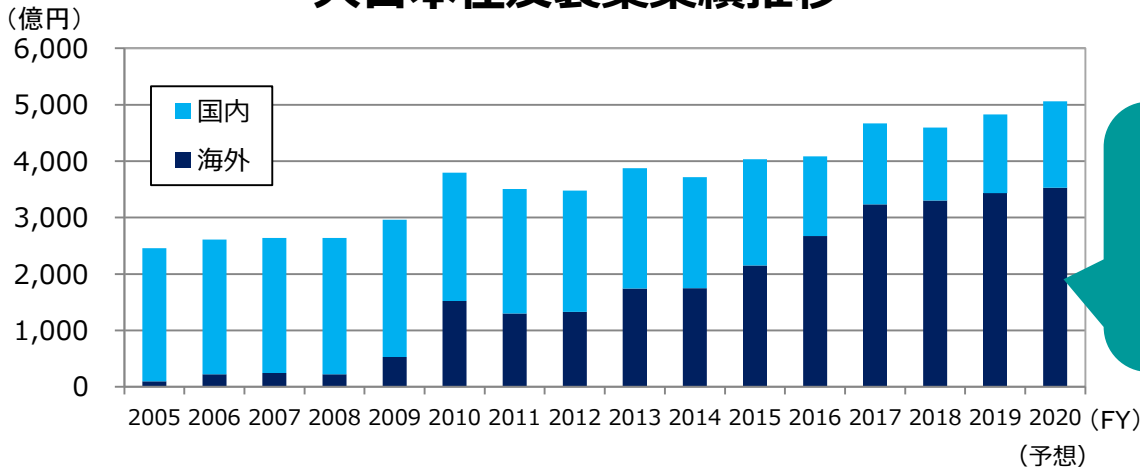


PET検査

＜医療用医薬品＞

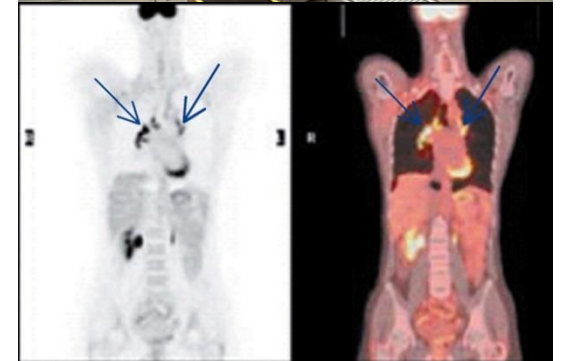
精神神経領域 がん領域 再生細胞医薬分野

大日本住友製薬業績推移



海外売上
比率
63%

＜放射性診断薬＞



「PET検査」

Positron Emission Tomography
(陽電子放出断層撮影)
がん、脳、心臓などの病気の診断

再生・細胞医薬分野の事業化計画

小児先天性無胸腺症 加齢黄斑変性
パーキンソン病 網膜色素変性
脊髄損傷 腎不全

再生・細胞医薬製造施設が稼働開始
(2018年3月)



ラツーダの特許切れ後を担う、大型新剤の開発・上市は順調に進展

領域	開発・上市予定	利益最大化のための取り組み
レルゴリクス (がん領域)	進行性前立腺がん (米国) 2021年1月発売済 (欧州) 2021年前半に申請予定	<ul style="list-style-type: none"> ➤ (北米) 2020年12月、ファイザー社と開発・販売提携 ➤ (北米と一部のアジアを除く地域) ファイザー社に販売に関するオプション権を許諾
レルゴリクス (婦人科領域)	子宮筋腫 (米国) 2020年5月申請済 審査終了目標日 2021年6月1日 (欧州) 2020年3月申請済 子宮内膜症 (米国) フェーズ3試験段階 2021年前半申請予定	<ul style="list-style-type: none"> ➤ (北米) 2020年12月、ファイザー社と開発・販売提携 ➤ (欧州、ロシアなど) 2020年3月、ゲデオン・リヒター社と開発・販売提携
ビベグロン (過活動膀胱)	(米国) 2020年12月承認済 2021年4月発売予定	<ul style="list-style-type: none"> ➤ (北米) 既存の関連会社と販売・物流面でのサポート体制を整備 ➤ 迅速な意思決定ができるよう、100%子会社化を実施
ビベグロン (前立腺肥大症を伴う過活動膀胱)	(米国) フェーズ3試験段階 2022年度結果判明予定	

IV

持続可能な社会に向けた取組み

- 住友化学のDNA
- MDGsへの貢献
- 化学産業が担う役割
- サステナビリティ



住友の事業精神

営業の要旨

第1条

わが住友の営業は信用を重んじ 确实を旨とし、
もってその鞏固隆盛を期すべし。

第2条

わが住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、
弛張興廃することあるべしといえども、
いやしくも浮利にはしり 軽進すべからず。

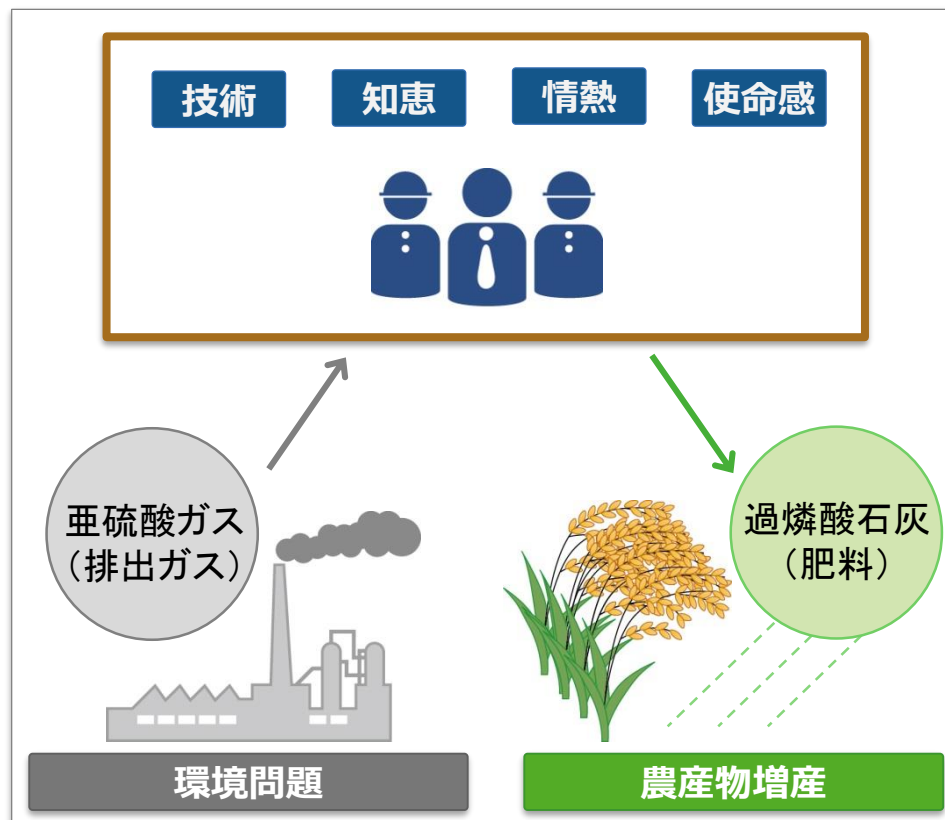
自利利他 公私一如

(じりりた こうしいちによ)

事業は自ら利益を得るものであるとともに、
社会に対しても利益あるものでなければならない

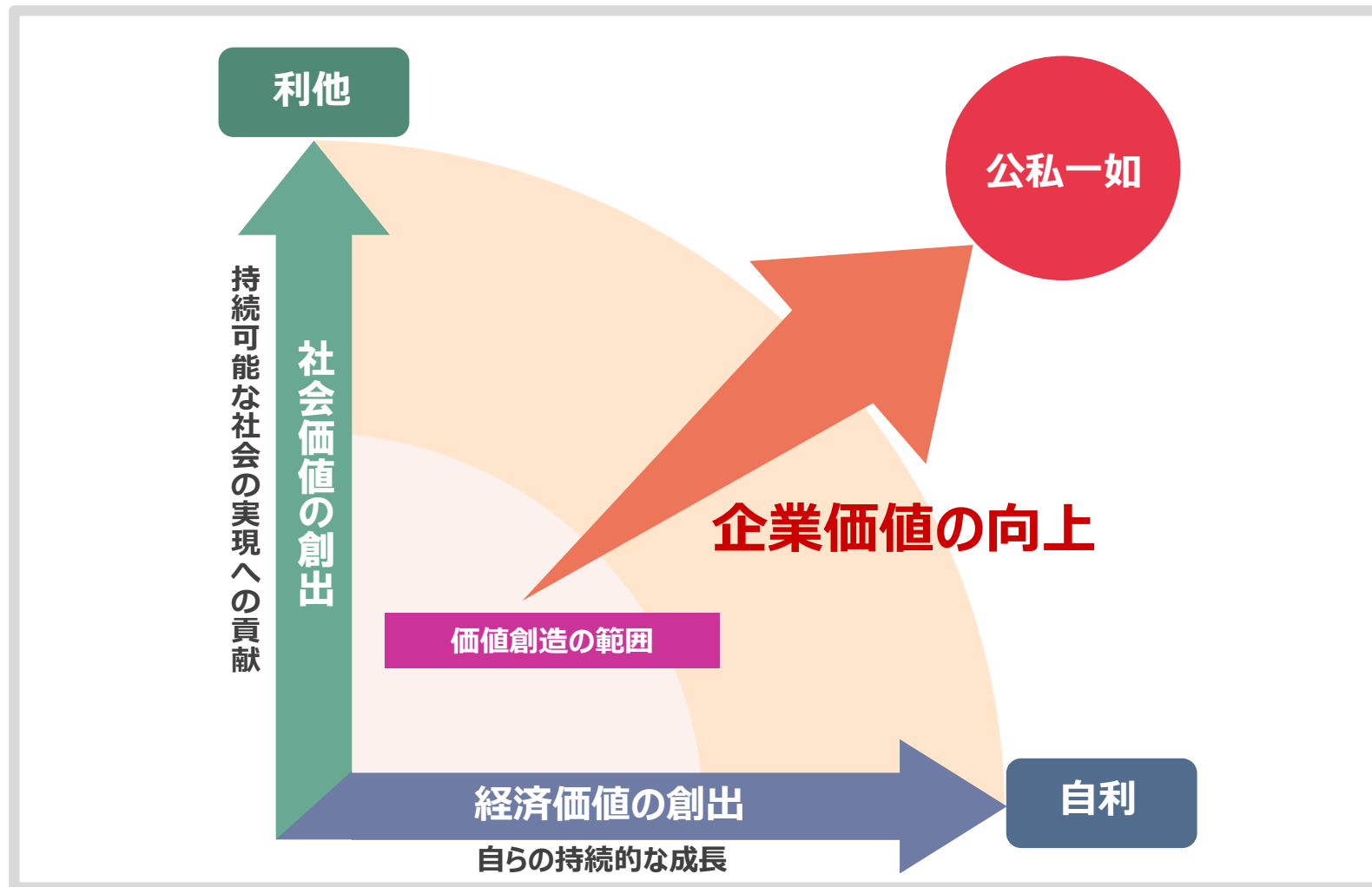
住友化学の始まり

1913年、銅の製錬の際に生じる有害な排出ガスから
有益な肥料を製造し、煙害問題の解決に取り組み環
境問題の克服と農産物の増産をともにはかることか
ら誕生しました。

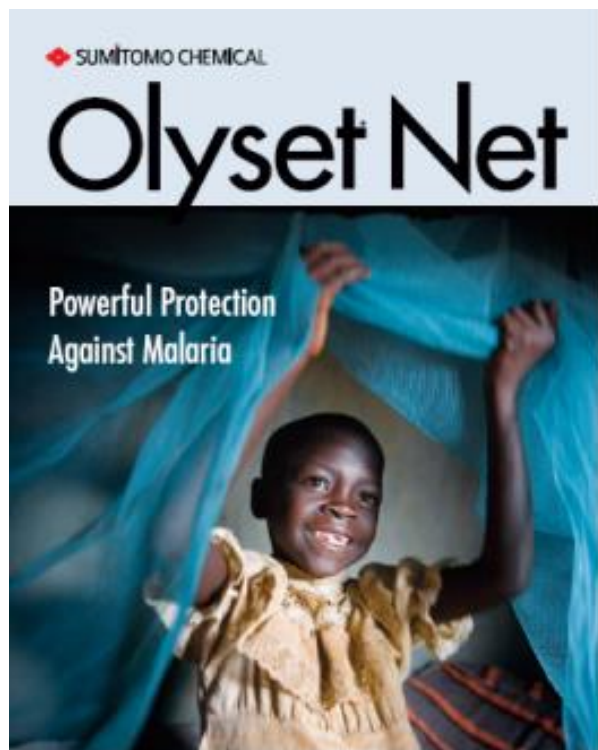


自利利他 公私一如

住友の事業は、住友自身を利するとともに、国家を利し、かつ社会を利するものでなければならない



初の長期残効型蚊帳LLIN
(Long Lasting Insecticidal Nets)
としてWHOから推奨



石油化学と
農業化学の
ハイブリッド

感染症対策

マラリアによる死者数が
2000年から半減。

13 気候変動に
具体的な対策を



3 すべての人に
健康と福祉を



統合的 解決

雇用・ジェンダー平等

現地生産により7,000人の
雇用を創出。女性の就業環
境整備。



教育支援

収益の一部で教育支援。ア
フリカ12カ国において28のプ
ロジェクト、総受益者数
21,000人超。

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



5 ジェンダー平等を
実現しよう



サステナビリティへの貢献



気候変動 環境負荷低減

安心・安全な生活の維持
に対する意識・関心の高まり

企業による貢献に期待

社会基盤を支える

自動車

住宅
建材情報
通信

家電

農業

医薬品

新型コロナウイルス
感染拡大防止にも貢献

新たな需要や製品を
素材面で支える

化学産業

医療用ガウン向け
ポリエチレンフィルムの
供給

家庭用抗ウイルス性
除菌剤提供

抗ウイルス薬向け
原料供給

産業用抗ウイルス剤の
提供

業務用抗ウイルス
市場向け製品開発

**化学の総合力で
感染症の沈静化に貢献**

COVID-19向け
核酸医薬原薬の供給

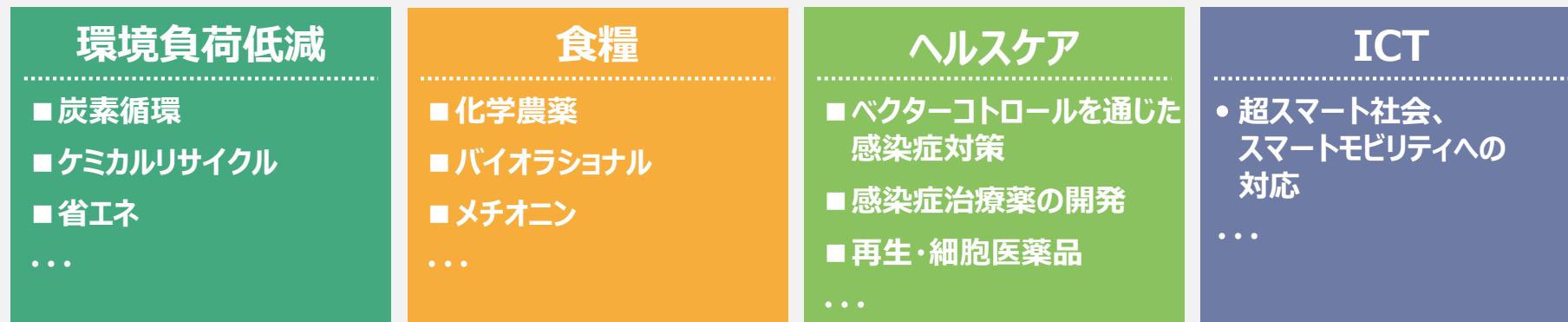
COVID-19
Research Database
への参画

万能インフルエンザ
ワクチンの共同研究

COVID-19
診断センサーを開発する
ナノセントへ資金提供

天然抽出物由来の
抗ウイルス剤開発

当社グループの事業を通じた貢献（機会の獲得）



Sumika Sustainable Solutions (SSS) 認定製品の普及

SSS認定製品の開発・普及を促進することで、持続可能な社会を構築するためのソリューションを提供

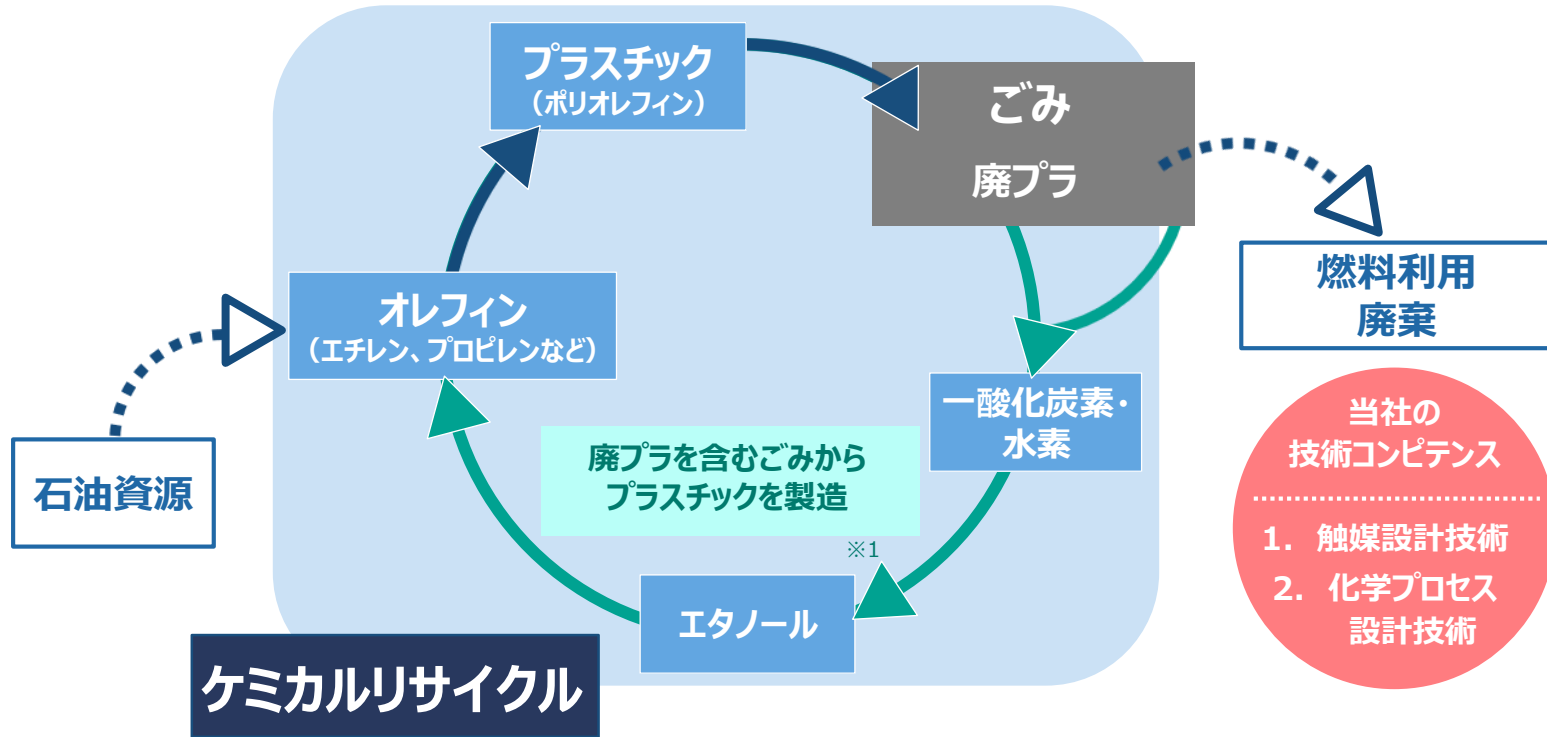
KPI

SSS売上収益目標
(2021年度) **5,600**億円
(2019年度：4,798億円)

社会への貢献例

SSS認定製品による
GHG排出削減への貢献 **6,200**万t

自社の製品により持続可能な社会の構築に貢献



石油資源の代わりに、廃プラやごみからプラスチックを製造




プラスチック製品の使用による、社会課題の解決

フードロス削減、自動車等軽量化によるエネルギー効率向上/環境負荷低減など

ごみや廃プラの利用による、社会課題の解決

石油資源の使用削減
ごみや廃プラの削減、温室効果ガス削減

※ 廃プラスチックを含むごみからエタノール製造を積水化学、エタノールからプラスチック製造を当社が担う

	2017年	2018年	2019年	2020年	備考
 カーボン・ ディスクロージャー・ プロジェクト	B	A	A	A	最高評価=A
 FTSE Blossom Japan Index	2.8	4.0	4.2	4.2	5点満点
MSCI MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ 指数	AAA	AAA	AAA	AAA	最高評価=AAA
MSCI MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)	5.8	6.2	6.0	6.7	10点満点
 Ecovadis Sustainability Ratings	Silver	Bronze	Silver	Gold	Goldは上位5%

V

株主の皆様との夢の共有



住友化学は「経済価値」「社会価値」を一体的に創出



事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献

-ステークホルダーの皆様とこの夢を共有-

Creative Hybrid Chemistry



注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。